【資料６】

門真市教育振興基本計画策定の基本的な考え方

［国］第2期教育振興基本計画（平成25年6月策定）

1　［国］第2期計画が示す今後の社会の方向性

創造：自立・協働を通じて更なる新たな価値を創造していくことのできる生涯学習社会

自立：一人一人が多様な個性・能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り開いていくことのできる生涯学習社会

協働：個人や社会の多様性を尊重し、それぞれの強みを生かして、ともに支え合い、高め合い、社会に参画することのできる生涯学習社会

2　［国］第2期計画が示す教育行政の基本的方向性

⇒新たに加えられた視点

・課題探求型の学習・自ら考え行動する力

・アクセスの確保・社会全体の教育力向上

①社会を生き抜く力の養成

②未来への飛躍を実現する人材の養成

③学びのセーフティネットの構築

④絆づくりと活力あるコミュニティの形成

［府］大阪府教育振興基本計画（平成25年３月策定）

門真市第5次総合計画（市政全般の基本方針）

3　門真市第5次総合計画

（1）門真市のめざす姿

・人・まち"元気"体感都市 門真

（2）基本目標2（教育分野）

「将来を担う子どもが育つ教育力のあるまち」

心豊かでたくましい子どもを育むまちをつくります

1　みんなで子どもの健康な心や体をつくります

・子どもの教育環境の充実

・健康な体づくり

・青少年の健全育成

2　子どもの学びの意欲を育む学校をつくります。

・児童・生徒の確かな学力の育成

・創造性や社会性を育む学校教育の推進

・学校施設の充実

4　門真市における教育を取り巻く関連計画

・（仮称）門真市教育大綱

・生涯学習推進基本計画

・子ども・子育て支援事業計画

・門真市教育の重点

・男女共同参画プラン　など

5　門真市の教育に係わる現状と課題

・学校

幼児期の教育・保育との接続

学力の向上

不登校児童・生徒への対応

体力・運動能力の向上、

問題行動児童・生徒への対応

授業力向上

開発的生徒指導

小中一貫教育

教職員の年齢構成と多忙化

学校施設の充実

・家庭

保護者支援の相談活動

家庭学習支援

・地域

子どもを守るネットワーク

子どもに関わる生きがいづくり

6　門真市教育振興基本計画の基本的な考え方（目的）

〇本市の教育の中長期的な目標や基本的な方向性を明らかにするとともに、年度ごとの教育方針を定める際の指針となるものとして策定する

〇策定委員会、検討委員会による審議

7　門真市教育振興基本計画の基本的な考え方に基づく策定方針

① 計画の位置づけ

国の教育振興基本計画を参酌するとともに、本市第5次総合計画や（仮称）門真市教育大綱を踏まえ関連する教育分野の個別計画と整合を図りながら進める。

② 計画の範囲

本市の学校教育分野に係る教育の振興を中心とし、それに関連する幼・保・小・中連携、家庭教育、生涯学習に関する施策

③めざすべきもの

子どもが生涯に渡って幸せに暮らせる教育の実現

8　統計データ等の整理

・門真市の教育を取り巻く社会環境を把握するためにデータ収集を行う

・統計データに基づき、門真市の教育の現状を把握する

・社会資源の状況、利用頻度を把握する

9　関連計画、事業の整理

・「総合計画」「門真市教育の重点」「生涯学習推進基本計画」など関連計画の整合性を整理する

・「（仮称）門真市教育大綱」の理念を踏襲合

・関連事業の整理

・他市事例収集

10　現状と課題の抽出

・分析把握作業、アンケート調査、ヒアリング調査結果に基づき、門真市の教育を取り巻く現状と課題の抽出を行う

11　施策体系の検討

・現状と課題の抽出から新たに重点課題とすべき事項をもとに、基本理念、基本目標、施策の方向等の計画の体系について検討を行う

12　体系に基づく取組の検討

・計画の体系に基づき、学校教育を中心に家庭教育、生涯学習の取り組みを明確にする

13　中学生からの提言

14　評価指標の設定

・計画最終年度までの目標となる指標

・体系に基づく取組内容が評価できる指標

15　推進体制の検討

・計画の推進を点検できる体制を位置づける

16　評価方法の検討

・計画の推進を点検できる評価方法を位置づける